

# 国家戦略特区を活用した「稼げるまち」の実現

令和8年1月23日

北九州市政策局政策部 政策課長 高岡 智靖

# 北九州市について

- 九州の最北端に位置する政令指定都市
- アジア諸国に近いというロケーションを生かし、明治時代の官営八幡製鐵所の創業以来、四大工業地帯のひとつとして、日本ものづくりを支えてきた
- 世界に誇る環境や産業の技術集積、空港や港湾、新幹線などの交通インフラが充実する一方で、長く美しい海岸線や緑豊かな山々など自然にも恵まれた街



### 個性豊かな7区

若松と戸畠を結ぶ若戸大橋

唐造りの天守閣をもつ  
小倉城

大正浪漫たどりよう建物が  
多く残る門司港レトロ地区

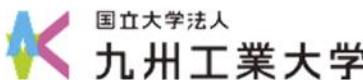
ユネスコ無形文化遺産登録  
された戸畠祇園大山笠

黒崎エリアの魅力ある  
工場夜景

※一般には非公開の施設です  
写真提供:日本製鉄(株)九州製鉄所  
世界文化遺産に登録された  
官営八幡製鐵所旧本事務所

平尾台のカルスト台地

- ▶ 都会の便利さと田舎の快適さをあわせ持ち、『住みたい田舎ベストランキング（子育て世代・シニア世代部門）』全国第3位など「住みよいまち」として全国的にも高い評価を受けている。
- ▶ 国より「自治体SDGsモデル事業」、OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定されるなど、北九州市のSDGsに関する取組は、国内外から高い評価を受けている。
- ▶ ものづくり産業の集積地であり、豊富な理工系の人材を毎年輩出している。
- ▶ 24時間利用可能な海上空港、市内各所に張り巡らされた交通網などの充実した物流インフラを有している。



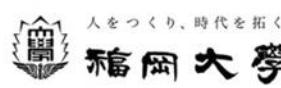
国立大学法人  
九州工業大学



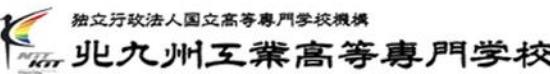
早稲田大学 情報生産システム研究科  
Graduate School of Information, Production and Systems, Waseda University



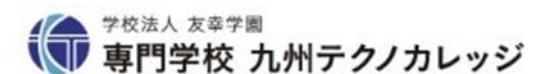
北九州市立大学  
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU



人をつくり、時代を拓く。  
福岡 大学



独立行政法人国文高等専門学校機構  
北九州工業高等専門学校



学校法人 友幸学園  
専門学校 九州テクノカレッジ



KCS  
KCS北九州情報専門学校



麻生専門学校グループ  
麻生情報ビジネス専門学校

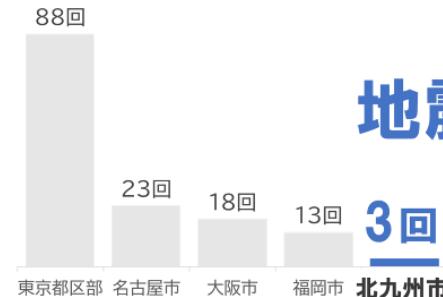
理工系14校・約3,000人の人材を毎年輩出



- 北九州市は、充実した陸海空の物流インフラ、地震など災害の少なさ、企業活動がしやすい安価な進出コストなど、産業都市としての高い競争力を有している。

### 安全【大都市比較】

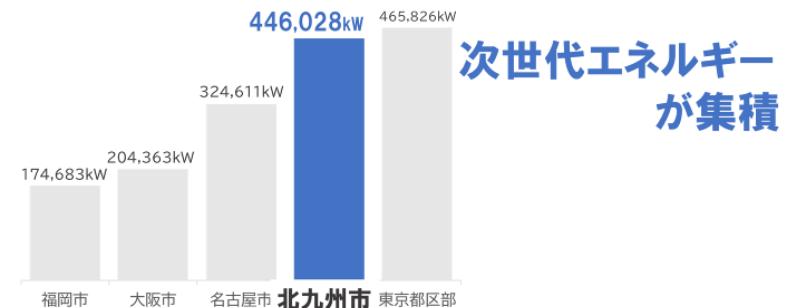
地震4以上の地震(過去100年)



地震が少ない

### エネルギー【大都市比較】

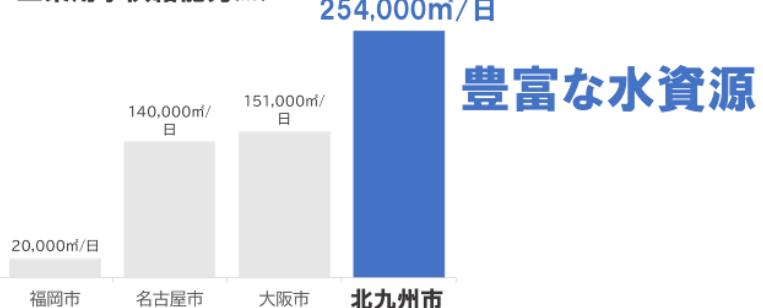
再生可能エネルギー導入容量(R4)



次世代エネルギー  
が集積

### 水【大都市比較】

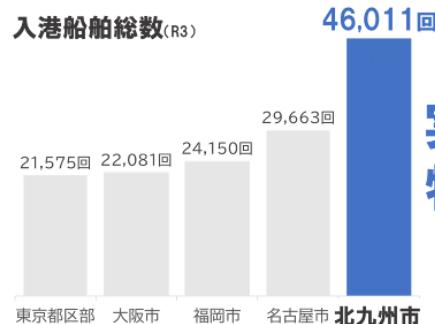
工業用水供給能力(R5)



豊富な水資源

### 交通インフラ【大都市比較】

入港船舶総数(R3)



実績ある  
物流インフラ

### 進出コスト【大都市比較】

商業地地価/工業地地価(R4)



低成本で  
進出を実現

### 暮らし【大都市比較】

合計特殊出生率(R3)



子育て  
したくなるまち

– 目指す都市像 –

つながりと情熱と技術で、  
「一步先の価値観」を体現する  
グローバル挑戦都市・北九州市

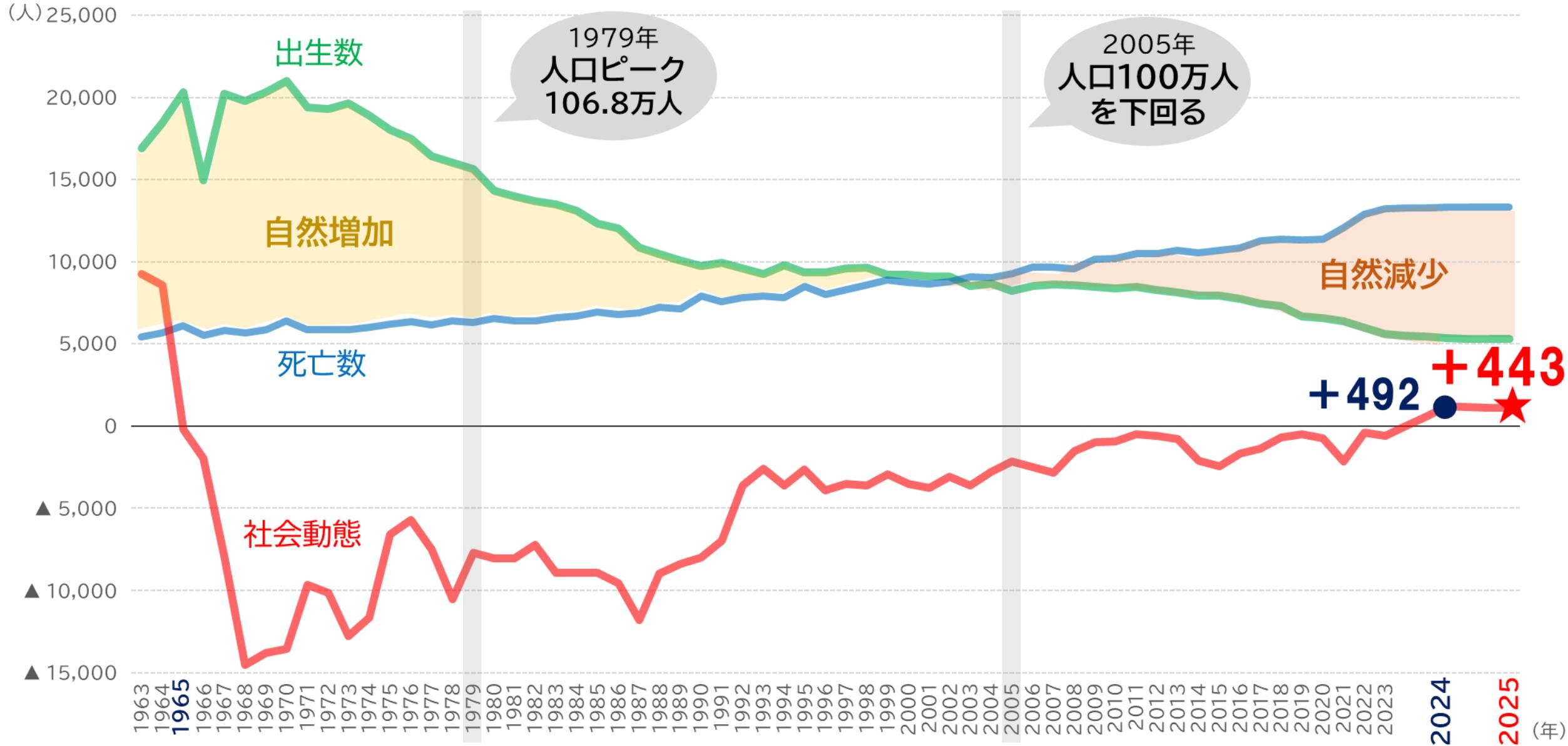
Kitakyushu  
**Action!**

動かせ、未来。北九州市

– 3つの重点戦略 –



# 60年ぶりの転入超過を“2年連続達成”



# 国家戦略特区と北九州市について

## 目的

# 「世界で一番ビジネスがしやすい環境」を創出

## 制度

経済社会情勢の変化の中で、障害となっている「岩盤規制」に対し、「規制の特例措置の整備や諸制度の改革」等を総合的かつ集中的に実施

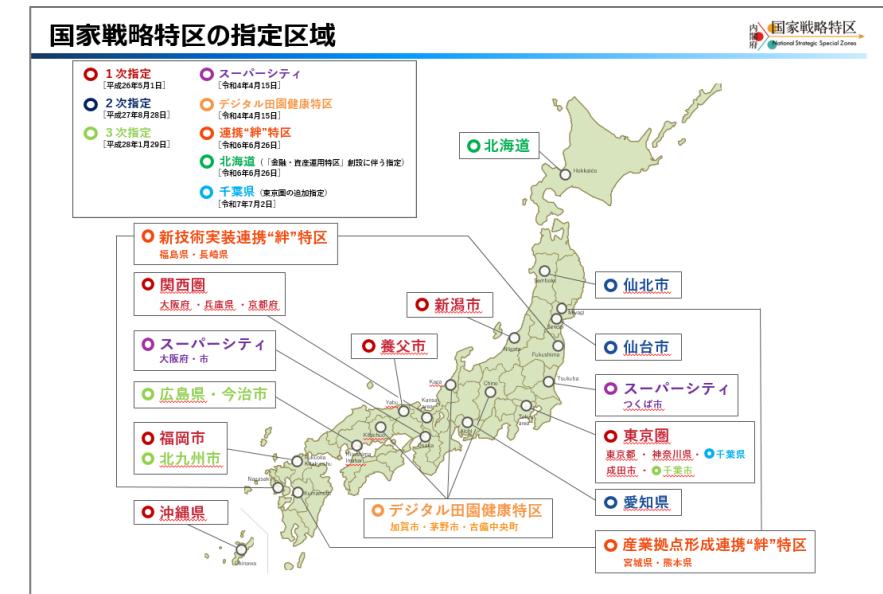
## 現状

16区域が指定されており、  
500を超える認定事業を実施

北九州市

平成28年に  
「創業のための雇用改革拠点」として指定

出典: 内閣府国家戦略特区HP



## ➤ 国家戦略特区の目的

「世界で一番ビジネスがしやすい環境」の創出

## ➤ 指定区域の目標

「創業のための雇用改革拠点」の形成

## 特区制度を推進

### 重点戦略 「稼げるまち」の実現

1 稼げる「基盤」をつくる

2 稼げる「人」を育む

3 稼げる「産業」をつくる



## 北九州市の国家戦略特区の目的

人口減少・高齢化社会への対応をテーマに、  
**地方創生の成功モデル都市に向けた成長エンジン**としての役割を果たす

国家戦略特区で推進する4つの拠点形成

21特例を活用し28事業を実施

先進的介護・高齢者活躍拠点

国内外の交流・インバウンド拠点

創業・雇用創出拠点

近未来技術の開発・実証拠点

「稼げるまち」の実現に向けた

国家戦略特区の活用について

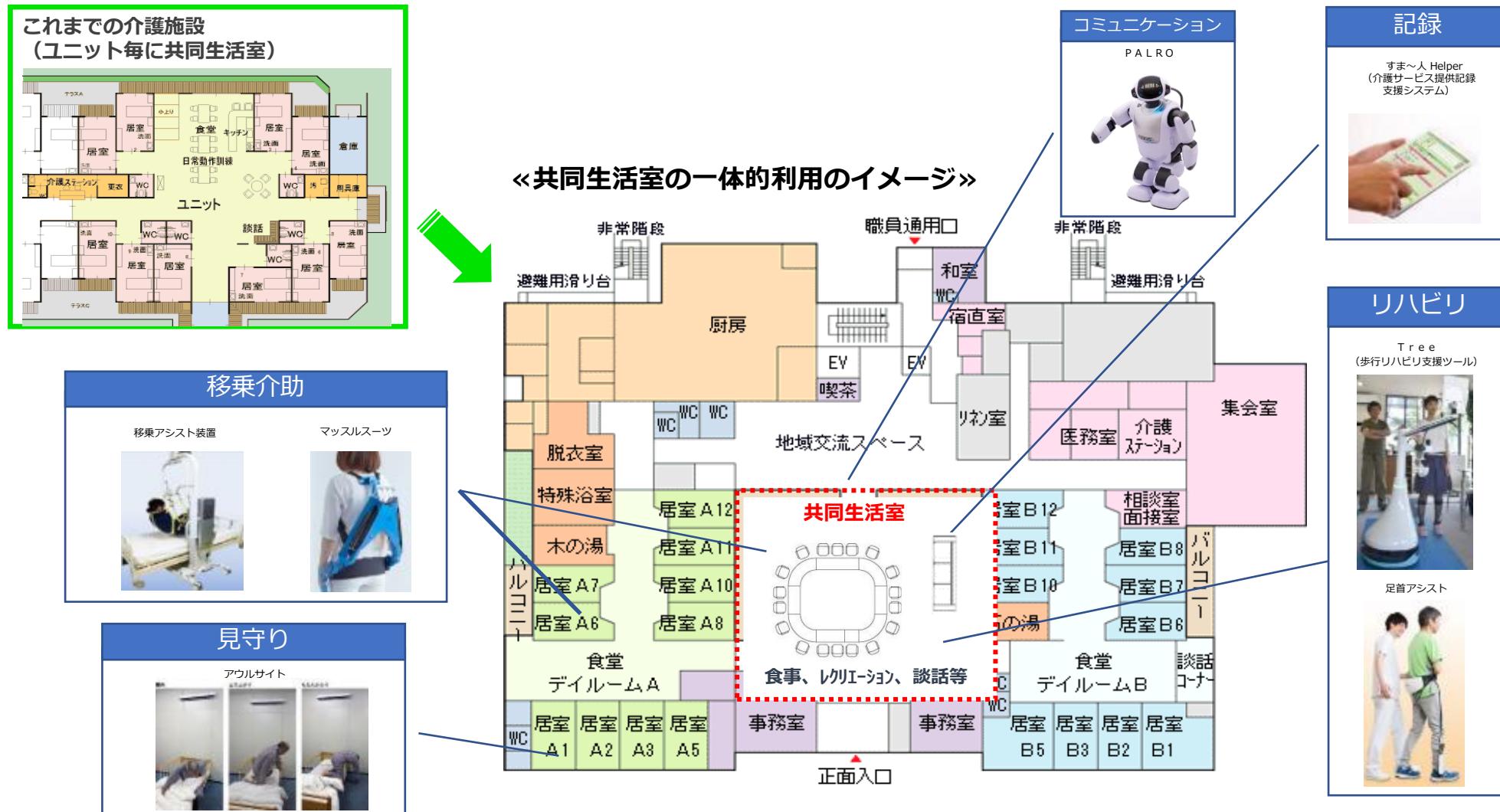
# 規制改革提案から全国展開

# 【全国初】介護ロボット等を活用した「先進的介護」の実証・実装

北九州市国家戦略特区

FUTURE CITY KITAKYUSHU

介護ロボット等を効果的に実証するため、国家戦略特区で認められた共同生活室に関する特例を活用し、市内の福祉施設において移乗支援、コミュニケーション、見守り、歩行リハビリ、記録支援等の分野で14機種の介護ロボット等を導入し、実証実装を行った。



# 提案中の規制改革提案 ( 九州工業大学と連携案件 )

## 宇宙との920MHz帯通信に関する実験試験局の免許取得に係る規制改革

## 現状の課題



- 地上で920MHz帯の通信を行う場合は、無線局免許不要であるが、衛星通信で行う場合は免許が必要となる。
- 宇宙無線通信を行う実験試験局にあっては、利用環境や国際的な影響等を踏まえ、簡易な免許手続によることはできない。
- 申請から予備免許取得まで1年7か月を要し、超小型衛星の運用終了までに免許取得に至らなかつたケースがあった

大学や企業が  
超小型衛星や  
ユースケースの開発に  
必要な  
開発・運用・検証・改善の  
サイクルを迅速に  
回すことができない。

## 規制改革提案

特定小電力無線局(920MHz帯)に該当する電波を使用して、地上から人工衛星に開設された無線局に対して通信を行う際は、**事前届出を行うことで地上局に係る実験試験局の免許申請を不要とする**。



超小型衛星の開発サイクルを迅速化し「宇宙の裾野」拡大を実現



地上局(IoT機器等)

# 特例メニューの活用と実績

### 規制緩和 酒類製造免許に係る最低製造数量基準 「6キロリットル」 ⇒ 「2キロリットル」

【汐風香る魅惑のワイン特区（若松区）】 平成30年6月に初の「北九州産ワイン」を販売

- 令和6年度：2,000本を超えるワインを醸造 → 九州のみならず、東京都・神戸市・名古屋市にも出荷

【台地が醸す夢のワイン特区（小倉南区）】

- 令和6年度：1,000本を超えるワインを醸造

「食」+「農業」  
「住みたいまち北九州」

➤ 令和8年1月に第3号となる事業者が醸造免許を取得（門司区）

令和8年1月から醸造を開始し、春からの販売開始を予定



#### 地産地消の推進

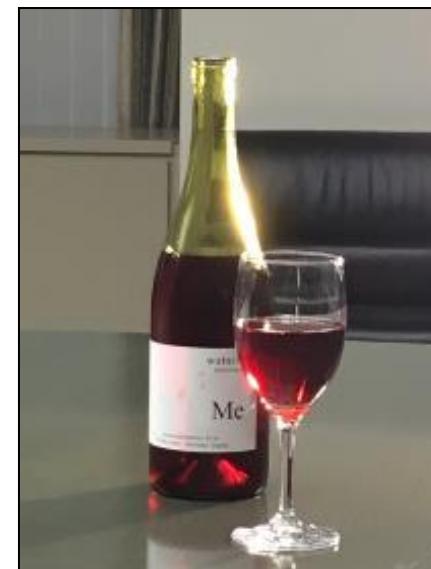
地域に愛される地元産のワイン。植え付けには多くのボランティアが参加し、「北九州産ワイン」に期待

#### 農產品・食品ブランド化の推進

高品質なワインを市内外にPR。本市の「食」のブランド化を推進し、付加価値を向上

#### 農業・6次産業の新たな担い手づくり

6次産業化の成功事例としてPR。都市の便利さと自然に囲まれた「豊かな暮らし」



## 課題

外国人エンジニアの雇用先企業が中小企業やスタートアップ等の上場していない企業の場合、入国審査の期間が長期化することもあり、**計画的な人材採用や企業活動に支障が生じている！**



## 特例措置

自治体による雇用先企業の経営状況の確認等を要件に、在留資格「技術・人文知識・国際業務」で入国する外国人について、認定証明書交付申請の審査の迅速化及び期間の明確化を図る。

- |    |                     |     |                            |
|----|---------------------|-----|----------------------------|
| IT | ➤ 電子部品・デバイス・電子回路製造業 | 半導体 | ➤ 半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置製造業 |
|    | ➤ 情報通信機械器具製造業 等     |     | ➤ 電子応用装置製造業                |
|    |                     |     | ➤ 機械設計業                    |
|    |                     |     | ➤ 労働者派遣業（通訳業務従事者） 等        |

→ 中小企業やスタートアップ企業の計画的な人材確保を図ることで、  
ビジネスがしやすい環境の醸成を推進！ ➤ 「稼げるまち」の実現へ

令和7年1月15日から運用開始

認定企業数3社（令和7年12月末時点）

### 【企業要件】

北九州市内に事業所を  
有すること

商業・法人登記をして  
いること

上場していないこと

以下6団体のいずれか  
に登録していること



北九州半導体ネットワーク

北九州市DX推進プラットホーム

北九州情報サービス産業振興協会

北九州システムインテグレーターネットワーク

パートネット北九州

IT Scrum KitaQ

### 北九州市の魅力

市所有のクリーンルームをはじめ、  
半導体の設計・試作環境を有する北九州学術研究都市  
を最大限に活用



### 国家戦略特区規制緩和

外国人エンジニアの受け入れ・就労促進



令和7年9月

**エンジニア（第1号）の早期採用が実現！**

九州工業大学発半導体スタートアップ企業

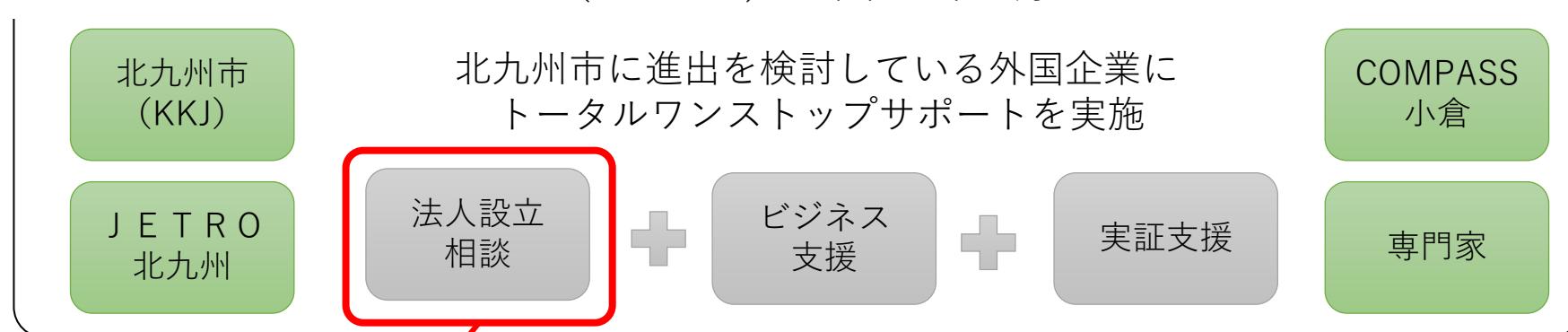
株式会社センタシストアカデミー

事業内容

国内初となる自治体と連携した  
半導体設計教育サービス

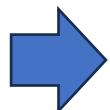
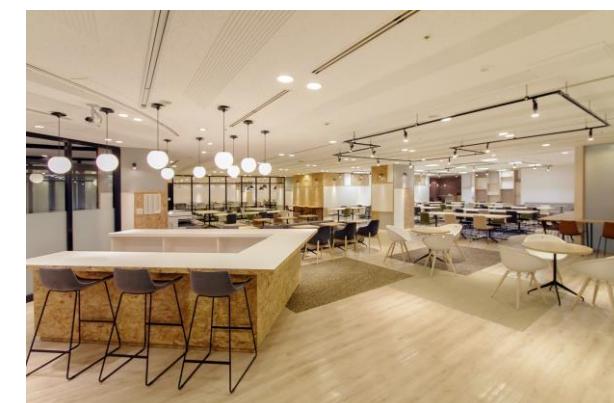
令和7年11月28日から区域計画認定

KKJビジネスサポートセンター（K B S C） 令和6年7月～



- 日本語による申請書作成
- 日本語による定款作成等
- 日本語に不慣れな外国人起業家への支援

海外企業側・支援側の負担軽減を図り、  
北九州市での起業・ビジネス展開を  
さらに促進



令和8年2月から運用開始予定

北九州市の目指す「稼げるまち」の実現

# 特区センターの活用と実績

## COMPASS小倉 (北九州市創業支援施設)

## 北九州市開業ワンストップセンター

- 申請書の作成支援
- オンライン申請の支援
- 開業に係る相談対応
- 省庁との連絡調整
- セミナーの開催 等



行政手続相談員

起業家

## 法務省

定款認証、法人設立登記

## 国税庁

法人税、所得税 等

## 厚生労働省

健康保険・労働保険 等

## 地方税

法人住民税、法人事業税 等

開業に係るオンライン申請を、  
国と連携してワンストップで支援し、  
日本一起業家に優しいまちを更に加速！

## 雇用労働相談センター

- 雇用・労働に係る相談対応

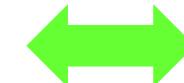
- セミナーの開催 等



雇用主・起業家



労働者



- ・オンライン相談
- ・対面相談
- ・定期的な相談会

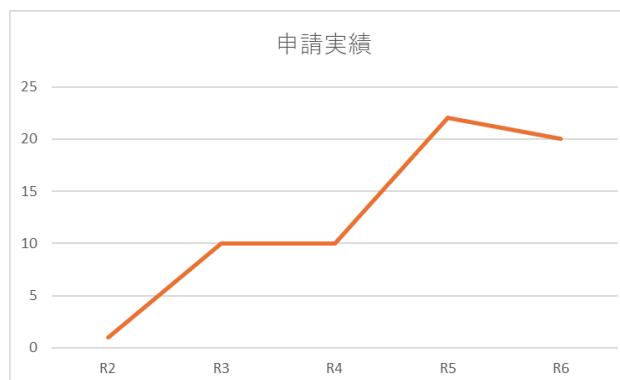
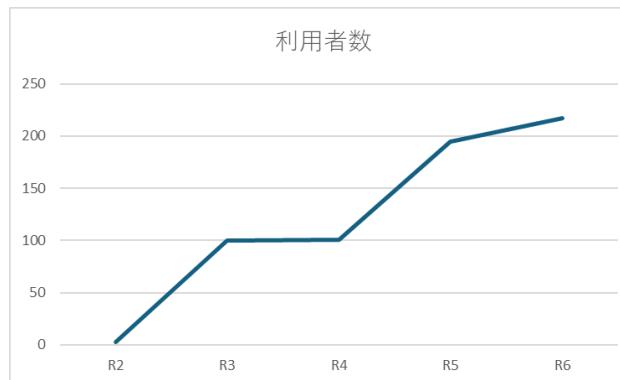


- ・弁護士
- ・社会保険労務士

国と連携し、弁護士等による雇用・労働相談を通じて、  
スタートアップ企業等における  
適正な労働環境の整備を促進！

## 北九州市開業ワンストップセンター

R3-R6年度  
利用者数 : 616名  
起業数 : 63社

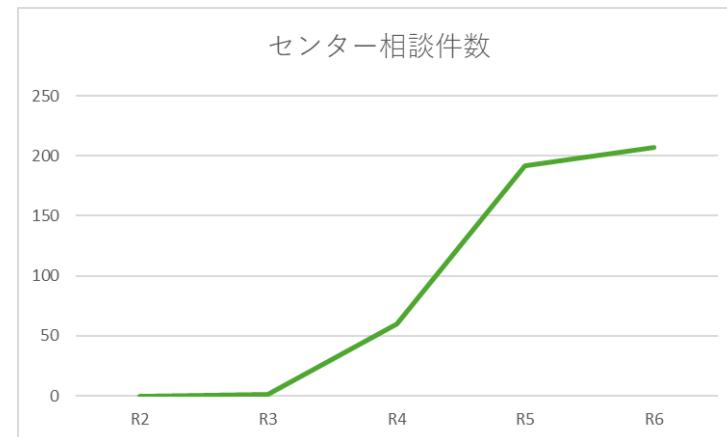


### 利用者の声

- 開業に伴う諸手続きをワンツーマンでお手伝いいただきスムーズに企業できた
- スタートアップ企業で人事・総務担当者がいなかつたが、センターのおかげで無事起業できた

## 雇用労働相談センター

R3-R6年度  
相談件数 : 460件



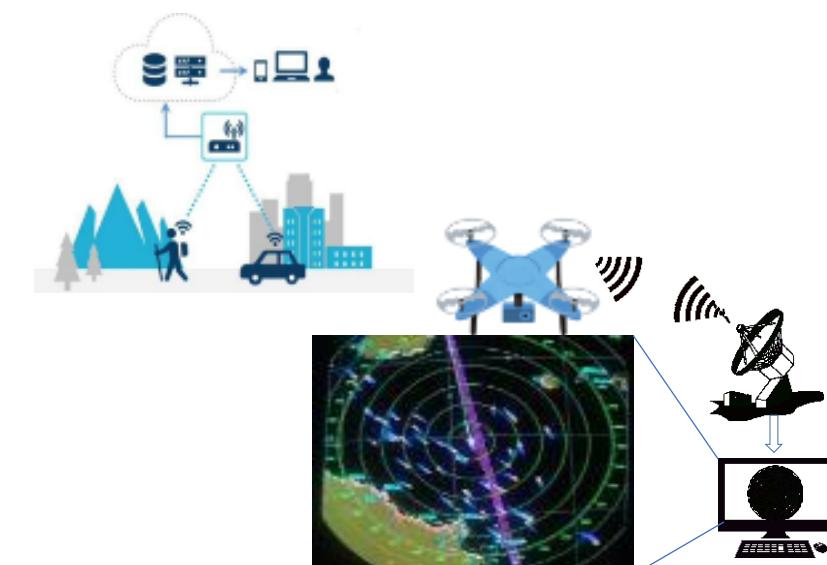
### 利用者の声

- 創業当初は社労士や弁護士繋がりがなかったセンターに労務や法務関係で相談に行くと、その都度対応いただけたので助かった
- 外国人雇用に困っていた時に適切なアドバイスをいただけた

# 先端技術の実証・実装支援について

▶ 北九州市では、高度な産業技術である

自動車の自動運転、小型無人機（ドローン）及び電波利用の実証実験の支援を強化するため、国と共同で「北九州高度産業技術実証ワンストップサポートセンター」を設置し、関係府省庁、道路・土地管理者、地元関係者等との調整を行う等、支援機能の充実を図っています。



【自動車の自動運転】

【小型無人機】

【電波利用】

近代日本の産業革命の地・北九州市をフィールドに第4次産業革命を実現！



分野



自動運転

令和6年度実績

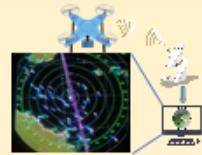
相談件数は延べ数

相談件数: 117件

実証実験: 2件



小型無人機  
(ドローン)



電波利用

相談件数: 7件

実証実験: 3件

相談件数: 78件

実証実験: 3件

平成30年度から令和6年度までの総実績

相談件数: 1283件 実証実験: 237件

令和6年度 東田自動運転実証実験  
試乗体験会を実施しました！

期間: 10/26sta - 11/3sun 車両: 3人乗りランドカーブ

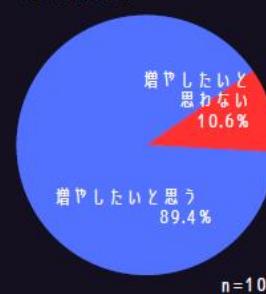


実証結果

大型商業施設や文化・歴史施設等が集積し、多くの…  
において、自動運転は役に立つと思いますか？



東田地区で自動運転など  
回遊のための新たな移動…、  
訪問予場所を増やしてみたいと  
思いますか？



運行主体

東海カラリオン（株）

[タイトルなし]

→ 高精度衛星測位技術を活用した自動運転システムを開発

技術協力

JAXA（宇宙航空研究開発機構）

主 催

東田ミュージアムパーク実行委員会

（公財）北九州産業学術推進機構



# 東田・未来都市 プロジェクト

The Higashida  
Future City Project



大規模商業施設や商店街など、多様な実証フィールドがコンパクトに集積する「東田エリア」



THE OUTLETS KITAKYUSHU



イオンモール八幡東



## 推進体制

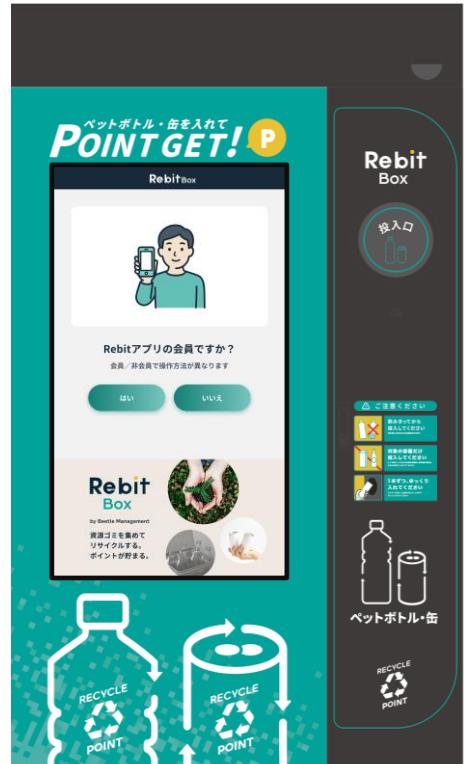
産官学民連携による  
コンソーシアムが  
強力にサポート

- ✓ フィールド提供や許認可等のワンストップ支援
- ✓ 国や市の補助金等の獲得支援
- ✓ 国家戦略特区を活用した規制改革の支援
- ✓ 事業者間の連携支援、広報など

## 目指す未来像



環境・地域・防災をつなぐ  
AI搭載新インフラの実証実験



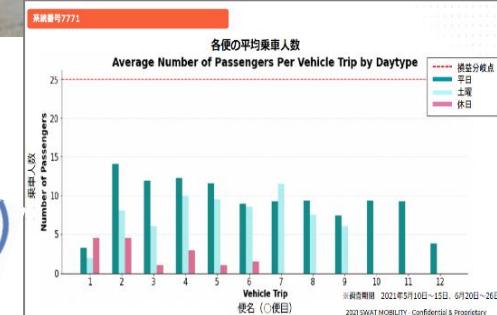
実施主体：リビットジャパン

窓設置「ミハルモ」の  
防犯カメラ活用に向けた実証



実施主体：AGC株式会社

人流センサ等による  
バス課題解決実証



実施主体：村田製作所  
SWAT Mobility Japan

➤ 国家戦略特区、東田・未来都市プロジェクトの詳しい取組内容については、ぜひ「北九州市国家戦略特区」ホームページをご覧ください。

北九州市  
国家戦略特区  
FUTURE CITY KITAKYUSHU

市民の皆さんへ

事業者の方へ

特区を活用した規制改革

東田・未来都市プロジェクト

実証事業のサポート

税制優遇・補助制度



北九州市内で環境関連の設備投資をお考えの企業の皆さんへ

特区制度を活用した、税制優遇やその他補助制度を準備いたしております。  
ぜひ本市での開業・設備投資のご検討の際にご参照ください。



北九州市国家戦略特区・テレワーク推進セミナーを開催します！

北九州市国家戦略特区・テレワーク推進セミナーを開催します！



スタートアップビザ活用企業と北九州市立高等学校とのコラボプロジェクト始動

北九州市立高等学校の生徒が、小倉北区のスタートアップ企業FUTAGO JAPAN（フタゴジャパン）と共同で、学校が所在する戸畠区をモチーフにしたアクセサリを作成するプロジェクトを始動しました。



区域計画が認定されました  
(北九州市テレワーク推進センターの設置)

6月19日に認定申請を行った「北九州市テレワーク推進センター」が同月28日付で内閣総理大臣認定を受けました。



区域計画の認定申請と新規規制改革（2件）の提案を行いました

国家戦略特別区域会議において、区域計画の認定申請と新規規制改革（2件）の提案を行いました



【東田・未来都市プロジェクト】令和5年度の新規事業を募集します！

北九州市は、デジタル技術を活用した環境・経済・社会の好循環によるSDGsの加速化...

U New U

あたらしいことをはじめやすい都市。  
福岡県北九州市。

リンク集  
お問い合わせ  
サイト内検索



◀ 北九州市国家戦略特区ホームページ

<https://www.tokku-kitakyushu.jp/>

『北九州 特区』で検索してください。

